（学校通信）平成２５年度　３月号　　平成２６年２月２８日　　児童数５７８名

朝霞第四小だより

《学校教育目標》
かしこい子
やさしい子
たくましい子

朝霞市立朝霞第四小学校　〒351-0015　朝霞市幸町１－６－９
ＴＥＬ（４６１）０３６３　E-Mail　4shou@city.asaka.saitama.jp

巣　立　つ　日　を　前　に

校　長　　髙　田　雅　志

早いもので春３月、雪の多さに驚いたこの冬の寒さも和らいで来ました。３月は一年間の学習や生活のまとめの時期、まもなく卒業や進級の時期を迎えます。

３月２４日には６年生が卒業式を迎え、この四小を巣立っていきます。そんな卒業生の思い出のアルバムに贈った文章の一部を以下に転記します。

この「朝霞第四小学校」がみなさんにとっての『母校』となります。

「母」という字を当てるのは性の平等からみてどうかなという声もあるかも知れませんが、だれでもこの世に産まれるときには母親の力なしにはいられません。自分が父親である校長先生としては、この結びつきにはかなわないなと思ってしまうときもあります。

詩人の吉野弘さんは『漢字喜遊曲』という詩で、

「母は　舟の一族だろうか　こころもち傾いているのは　どんな荷物を　積みすぎているせいか」とうたっています。

自分の体を傾けるほど積まれた荷物とは、わが子への愛情でしょうか。だからこそ、このイメージを「母国」「母港」などのように、なつかしい故郷としての言葉にあてるのでしょう。

さて、朝霞第四小学校もみなさんにとってなつかしいと思ってもらえるような、故郷となって心に残っていけるでしょうか。そう願って、校長先生も、先生がたも、みなさんに愛情を持って見守ってきたつもりでいます。

この『母校』での思い出を大切にしつつ、これからより大きな世界へと羽ばたいていって欲しい。みなさんの将来に幸多かれと願い送り出します。

＜芝生の愛称について＞

四小　緑の広場「しばっしー」

本校校庭を囲む芝生は、平成２２年度の校舎新築移転を機会に、埼玉県みどりの園庭・校庭促進事業の補助を受けて、平成２２年６月２１日に、当時の全校児童５０６名・保護者、地域のみなさまのご協力により植えつけられたものです。

その後、歴代の児童・職員の養生や学校応援団の方々のお世話もあり、年々緑を濃くしてきました。

この芝生の上で遊んだ日々を、新たな母校の思い出の一つとして永く心にとどめてもらおうと、先日、全校の児童５７８名から呼びやすい名前を募集し、４０あまりの候補の中から、緑の広場「しばっしー」と名付けました。

H22・６・21 植えつけのようす